

事業報告書 2021 年度 (令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

I. 事業の状況

本年度は次の通り事業を実施した。

II-1. 特別企画展 (入館者数 32,119 人：有料+無料)

入館者		本年度	前年度	増減	備考
一般	個人	30,312	23,971	6,351	友の会員等含む
	団体	42	0	42	
学生 (大高中小)	個人	1635	1,396	239	
	団体	130	24	106	
計		32,119	25,391	6,728	

2. 特別企画展の内容

年間を通して下記の特別展を開催した。

	特別展示名	会期	会期日数	入館者 (人)	
				入館数	日当たり
1	日本民藝館改修記念名品展 1	‘21 年 4 月 4 日～6 月 27 日	73 日	7,538	103
2	日本民藝館改修記念名品展 II	‘21 年 7 月 6 日～9 月 23 日	69 日	6,635	96
3	棟方志功と東北の民藝	‘21 年 10 月 1 日～11 月 23 日	46 日	7,549	164
4	2021 年度日本民藝館展	‘21 年 12 月 11 日～12 月 24 日	12 日	3,440	287
5	美の標準—柳の眼による標準	‘22 年 1 月 10 日～3 月 21 日	60 日	6,957	116
開催日数・総入館者数			260 日	32,119	124

III. 民藝の普及・振興に関する事業

1. 特別展にあわせて下記のオンライン講座を開催。

	記念講演会名等	講師	実施期日	参加人数	運営
1	改修記念特別対談「ふつうであること」	対談者：土井善晴（料理研究家）、深澤直人（当館館長）	‘21 年 8 月 20 日	301	オンライン (Zoom)
2	特別対談「棟方志功東北を想う」	対談者：石井頼子（棟方志功研究家）、杉山享司（当館学芸部長）	‘21 年 11 月 30 日	67	Zoom
3	記念講演「柳宗悦の美の宗教-『美の法門』への道」	講演者：松井健（東京大学名誉教授）	‘22 年 3 月 5 日	206	Zoom

2. 小・中・高等学校との連携事業

美術館における鑑賞学習と学校教育の連携として小学校（2 校）と高等学校（1 校）の学生を受け入れ、美術館教育を館内にて実施

- ・ 10 月 25 日 桐朋学園小学校 70 名、1 月 19 日 目黒区立駒場小学校 59 名
- ・ 11 月 16 日 橘学苑高等学校 37 名

3. 博物館実習教育プログラム (博物館実習の受入れ)

学芸員資格の取得を希望する学生に対して、現場での教育実習プログラムを設け、各大学より応募があった学生を対象に講義と実習を行った。

事業名	実習日数	学校数	人数	教育カリキュラム
博物館実習生の受入	10日間（6月24日～12月26日） 講義4日間、実習6日間	大学 10校	11名	1.講義（民藝館の活動、民藝美論、蔵品の管理、展示に関する基礎知識） 2.実務実習（展示替え作業）

4. 国際文化交流事業（国内含む）

海外からの調査依頼や展覧会企画への協力を実施する。

- ・「スペイン・バルセロナにおける民藝運動についての調査協力」

（国立カタルーニャ美術館にて「濱田庄司・アルティガス展」が2021年6月4日から2022年1月9日まで開催）

- ・「スウェーデン国立グスタフスベリ陶芸美術館との共同調査」

（グスタフスベリ陶芸美術館にて2024年夏に開催予定の「濱田庄司とW・コーゲ展（仮称）」のための打合せと資料調査の協力）

- ・「益子町で企画されているリーチポタリー開窯100年記念展への協力」

（2022年秋に日本民藝館西館にてリーチポタリー開窯100年を記念する催事を開催予定）

5. 日本民藝館所蔵品の貸出

日本民藝館の所蔵品貸出は下表の通りである（美術館等は12ヶ所、出品 723点）

会場	展覧会名	貸出作品	点数	会期（平成）
武蔵野美術大学美術館	膠を旅する	マキリ	2	‘21.5.10-6.20
浜松市美術館	遠州の民藝展	河井寛次郎、濱田庄司、 外村吉之介作品など	8	‘21.5.15-6.27
一般財団法人日本板画院	第70回記念板院展	二菩薩釈迦十大弟子 いろは版画柵等	14	‘21.6.14-6.20
益子陶芸美術館	バーナード・リーチ 100年 の奇跡	鉛筆まつえ字文皿、白掛け 鉄絵深鉢等	7	‘21.6.13-8.22
渋谷区立松濤美術館	アイヌの装いとハレの日の 着物	厚司衣裳、切伏衣裳等	13	‘21.6.26-8.9
無印良品 銀座店 広島店、 福岡店	・「Life in Art」展 ・民藝 「MINGEI 生活美の かたち	柚木沙弥郎作品、 石枕、水滴、手付土瓶 手付鍋、爛徳利 等	4 58 58	‘21.7.9-9.5 ‘21.10.8-11.28 ‘21.12.3 ‘22.1.30
静岡市立芹沢銈介美術 館	「開館40周年記念秋編 芹 沢銈介の日本」	丸紋のれん、古事記二曲 屏風、法然上人御影等	10	‘21.9.15-12.16
豊田市民芸館	「柳宗悦と民藝運動の作家 たち」	バーナード・リーチ、 河井寛次郎、濱田庄司等	227	‘21.10.26- ‘22.1.30
東京国立近代美術館	柳宗悦没後 60周年記念展 「民藝の100年」	柳宗悦蒐集品・写真、書物 記録映画（琉球の民藝）等	316	‘21.10.26- ‘22.2.13
鈴木大拙館	開館10周年記念特別展「み ずにあとなし」	柳宗悦・書「南無阿弥 陀佛」「茶の改革」等	6	‘21.10.1-12.12

6. 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・日本民藝協会の発行する雑誌『民藝』への写真データや情報の提供

- ・「韓国国外所在文化財財団の研究支援による日本民藝館所蔵・朝鮮関連資料の調査」
(東京藝術大学との共同研究による、柳宗悦と慶州・石窟庵に関する調査と研究会の実施。
なお、その成果は2022年10月に韓国文化院にて展覧会とシンポジウムによって発表予定)

IV. 民藝の工人育成・協力推進事業

1. 日本民藝館展の開催

会期 2021年12月11日～12月24日(12日間)
表彰式・講評会 2021年12月7日(受賞者:館賞1、協会賞1、奨励賞4)
入館者数 3,440人(入館指定日時予約制)

出品状況(応募・審査状況)

出品分野	出品者数	制作者数	出品点数	審査結果		
				入選	準入選	落選
分野(陶磁器、染織、織物、木漆工、ガラス、編組等)	321名	345名	1,218点	459点	301点	452点

V. 広報 他

- ・各特別展のポスター及び年間特別展開催パンフレットを製作し、美術館・教育機関・工芸館ギャラリーなどへ配布。並びに京王線主要駅の駅貼り大型ポスターの掲出。
- ・各特別展のチラシ(案内状)を製作し、報道機関・民藝関係者・友の会会員への配布。並びにマスメディアを通して当館の活動や展覧会に関する情報を紹介(誌面・放映)。
- ・館Webサイト(ホームページ)やSNS(フェースブック、インスタグラム)を通しての情報の発信
- ・弊館の歴史やコレクションを紹介する映像資料の視聴提供
- ・災害時の帰宅困難者用の非常食備蓄(15人×3日)

VI. 所蔵品等の修復・保存整備

- ・厨子甕5点、朝鮮白磁壺1点、芹沢銈介作「沖縄絵図」1点

VII. 所蔵品の寄贈品(6点)

寄贈品

沖縄の石獅子1点、「工藝」第104号1点・片野かおり作1点「藍染紋飾布2017年」、河井寛次郎作1点 書軸「喜者開」、濱田庄司作2点「掛合釉扁壺」「黒釉鑄流描皿」

VIII. 日本民藝館の営繕管理、設備等

- ・西館(2棟)が東京都指定有形文化財(建造物)として指定されたことに伴い、消防法等において自動火災報知設備の設置義務が生じ、同設備の室内新設工事を行う。

IX. 役員等に関する事項

2021年6月24日 みなし決議に関する評議員会
議事事項 ・2020年度事業報告書及び計算書類等について 等
2021年6月10日 みなし決議に関する理事会
議事事項 ・2020年度事業報告及び計算書類等の承認 等
2022年3月8日 2021年度定時理事会
議事事項 ・2022年度事業計画及び収支予算の承認
・2022年度定時評議員会の招集について 等

- ・2021年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成していない。

2022年5月
公益財団法人 日本民芸館